

第1投目：2011シーズン初釣行 魚が海の変化を教えてくれた

西高東低の気圧配置がはっきりとする日が次第に多くなり、週に1回は海が時化するこの時期、ついに私のクロ釣りシーズンが始まりました。今年は夏場も何度かスジアラを狙って磯に行きましたが、人に話せるようなたいした釣果も無く、巨大ウツボばかり釣って、ただ奄美の暑い磯の上でむだに汗をかいただけといった感じ。『やっぱり磯釣りはクロ狙わないと！』。12月某日、シーズン初のクロを狙ってクラブのT会長と渡船に乗り込みました。天気は快晴、風もほとんど無く、大陸から広がる高気圧の影響で前日まであった北からの波もどんどんおさまっていきます。

私が降りたのは西側海域のK瀬という磯。先日もクロの釣果があったと聞いて、姿だけでも見ればいいなあ..などと思いながらの仕掛けをセット。磯に降りたのは10時半頃、潮汐表的にはもう上げ潮になっているはずですが、まだ南に向かって下げ潮がガンガン流れています。

まずクロを見つけようと、魚が観やすい沸き潮に撒き餌をして釣り開始です。イスズミにアイゴにスズメダイにカワハギにとすぐに海面は魚でいっぱい。どうやら海の状態は良いようです。ふと、1枚だけ沖目に尻尾の白い魚を発見！イスズミに混じって少し深い棚で餌を拾っています。あの尾びれの形は間違いなくクロ。見つただけでモチベーションは一日維持できそうです。

『さあ~あとはあのクロをどこで釣るか...』しかしそれから2時間、なかなか自分が喰わせたいポイントにクロは来ず、餌取り軍団も強敵、潮も下げ流れが変わらず四苦八苦していました。

そして13:30PM、それまで見えなかったアカモンガラが数匹撒き餌に寄ってきました。見た目の潮の流れは朝と全く変わってないように思えたのですが、海の中で明らかに何か変化が起こった証拠です。それを期に、それまでやっていない別の場所、今までと海中の流れが変わったのならここでクロは餌を拾うんじゃないかというポイントを試してみました。そして今日はそれがビンゴ！沖にも際にも見えなかったクロが、その場所で49cmを含む2枚連続ゲットです。

やがて、そのポイントで餌が残るようになり、もう一度周囲の潮を観に高い場所へ戻ると、やはり上げ潮が動き始めていました。クロは潮の変化に敏感な魚、上げ流れが鮮明になると沖目で再度クロを確認、船が回収に来る直前の16:15PM、本日3枚目を釣ることができました。

何より今日一番驚いたのは、別の磯に乗っていたT会長、なんとクロの64cmをゲット！奄美の磯でこのサイズはびっくり仰天です。思い出してみると、アカモンガラが見え始めた時に私はT会長に潮の変化を教えようと携帯を取り出しました。

すると計ったかのように会長からの着信！『記録級のクロを釣った』という連絡、今まで見えなかった魚が見えだしたことによる海中の変化、それは磯が違って時間も時間はほぼ共通するんですね..そしてその変化を察知することは、クロ釣果につながる必須事項。海を良く観察すること、その重要性を再認識させられた2011クロシーズン初釣行となりました。

